

【MEDIA INFORMATION】

2021年8月18日

スーパー耐久機構

事務局長 桑山 晴美

「スーパー耐久シリーズ2021 Powered by Hankook 第4戦 TKU スーパー耐久レース in オートポリス」における、ST-Xクラスの裁定に関しまして。

■経緯

決勝レース終了後の再車検において、ウエイトハンデ重量（単体）の測定を行った結果、定められたウエイトハンデの重量を満たしていなかったため、当該大会審査委員会により失格の裁定がなされました。

■事実関係

- ・当該車両のウエイトハンデ重量は 30kg（事前車検にて封印済み）。
- ・再車検でのウエイトハンデ単体の計測結果は 29.3kg。
 - ※スーパー耐久シリーズ2021 スポーツ規則 第5条（4）に規定される測定方法にて計測。
- ・ウエイトハンデ重量を含む車両重量は、規則に合致していた。

■当機構の見解

ウエイトハンデの不足重量が微差であること。また、車両重量は規則を満たしていたこと等を考慮すると、今回の規則違反は悪意や故意によるものではなく、規則運用に対する誤解があったことや単純な確認ミス等が原因であると思われます。事前の車検において封印されていたことも（その目的は、レース中の脱着を防止するためではあったものの）、誤解の一因となった可能性も考えられます。左記の状況からすると、今回の違反が、レースにおいて当該車両に有利に働いた可能性はほぼないと考えますが、規則の主旨・解釈からすると今回の判定および裁定については適切であったと考えます。

当機構といたしましては、モータースポーツの根源である公平・公正を尊重し遵守することは当然ではあるものの、このような形でレース後に優勝車両が失格になるような事態は、極力避けなければならないことと認識いたしております。

今回の結果につきましては、関係する皆様にご心配とご迷惑をお掛けすることとなり心よりお詫び申し上げます。

今後は、規則の周知徹底、および運用手順の見直し等を行い再発防止に努め、ファンの皆様や参加者の皆様により一層心から楽しんでいただけるシリーズを目指して参ります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、いつもスーパー耐久レースを応援してくださっている皆様、参加者の皆様、そして、オートポリス大会の成功にご尽力を賜りました全ての皆様に心よりお礼を申し上げます。

【本件に関わるお問い合わせ】

スーパー耐久機構事務局(STO) sto@k2p.co.jp